

企業と生産者連携、市も支援

都内駅で野菜販売

和光市



上野駅にて対面販売で野菜をPRする石田代表

【埼玉】和光市の野菜生産者が、地元野菜を総菜などに加工・販売する「山西商」と連携し、JR東日本の地産品ショップ「のもの」に出店している。

JR秋葉原駅・上野駅な



どの駅構内の店舗で、朝採りの新鮮なニンジン、ホウレンソウ、小松菜など野菜を販売し、好評を得ている。この取り組みは、山西商の石田良子代表が、「和光市の農産物の販路を拡大するにはどうしたらよいか」と、生産者に声をかけたことがきっかけ。

同市は東京都に隣接し、県内でも都市化が進んだ地域。だが担い手も育っており、多彩な農産物が生産されていることを多くの人に知ってもらいたいという生産者の思いから、販売が実現した。

市産業支援課もこの取り組みを推進しており、生産者と山西商との間で交わされる販売商品の打ち合わせ

市役所で出店について意見
を交わす関係者

各地を彩る55万本の花

座間

せり調整、
サポートし

今回は7月

JR上野駅に
ている。